

普通学級就学希望を拒むな！

2.21 国連2022年総括所見(勧告)の実現を求める院内集会

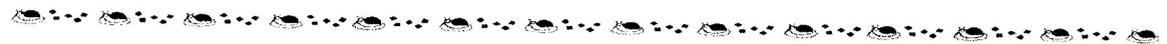
表題の通り、2月 21 日に参議院議員会館において、2022 国連総括所見の実現を求める院内集会が開催され、障害児を普通学級へ・全国連絡会主題で行われたので参加してきました。

集会では、大阪豊中、北河内、帯広など全国各地から共に学ぶ運動に取り組んでいる方々や、学識経験者、DPI、そして衆議院、参議院の議員などからも次々と発言があり、義務標準法による基礎定数(児童数に対する教員配置)が最低基準とされたことや、特別支援教育予算に対して財務省からの削除圧力がかけられていること、心身の異常の発見を主目的とした 5 歳児検診がスタートすることなどが報告されました。

その中で特に印象に残ったものは、木村英子さん(れいわ新選組・参議院議員)の、ずっと分けられた環境で学び育ったことで社会に出ることに怖さを感じるようになってしまったという発言です。木村さんのように議員として活躍されている人でもそうなんだと衝撃を受けました。そして、最近知り合ったまだ若い肢体不自由の人が似たようなことを言っていたのを思い出したのです。その人はずっと特別支援学校で学び、高等部から大学に進学しましたが、そこで初めて周りは健常者ばかりという環境に投げ出されて途方にくれたと言っていました。

実は、怖かったり途方にくれたりするのは障害者の側だけではない、健常者の側も同じではないかと思うのです。告白すると、わたし自身も初めて障害のある人と知り合ったときにどう付き合ったらいいかわからない、怖い、という感覚を持ちました。学校時代に分けても、いつかは一緒になるのですが、その時に互いを怖いと感じてしまうのはとても不幸なことです。でもそれが無理なら、ずっと分け続けなくてははいけません。どちらにしても、国連のいうインクルーシブな社会とは全く違ったものではないかと思えます。

だれもが共に生きることができる社会、インクルーシブな社会は一朝一夕でできるものではありません。まずは種をまかなければ何も始まらない、そのささやかな一歩が「普通学級就学を拒むな！」ということなのではないかと思えます。(中山)



これからの予定	(連絡・問い合わせ先 mogucchi_s@yahoo.co.jp)
全国連文科省交渉	6月13日(金) 14:00～ 参議院議員会館 B107
久喜相談会	6月28日(土) 10:30～ 久喜東コミュニティセンター(和室)
全国交流集会 in 埼玉 実行委員会	6月29日(日) 13:30～ 岸町公民館第1会議室
TOKO ミニおしゃべり会	7月11日(金) 10:30～ べしみ

インクルーシブ教育を考える会に参加されている福田さんからのお知らせです。

＼未就学児ママ大集合／

就学相談会

支援級・通級・支援学校
ってどんな雰囲気？
うちの子にはどこが合ってる？

先輩ママに
あれこれ聞くチャンス！

6月18日（水）

場所：越谷中央市民会館内

こぼと館 越谷市役所向かい
越谷駅東口より徒歩7分

時間：10:30-12:00



お申し込みQRコード